

スクール・ポリシー（学校名：都立六郷工科高等学校（全日制課程）工学科）

グラデュエーション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none">① 18歳で選挙権を適正に行使できる能力と態度を身に付けさせる学校。② 法令を守り社是・社訓、就業規則の内容を理解し適正に職務を遂行できる態度を着実に身につけさせる学校。（特に改正道路交通法に規定されたヘルメット着用自転車乗車を徹底推進する。）③ 将来、就業先で上司から依頼、指導・助言された内容を素直に履行できる態度を育てる学校。④ 登校時校門を入り下校時校門を出るまでの間、「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」、「お願いします」、「ありがとうございました」等の挨拶が確実にできる生徒を育てる学校。⑤ 納税の義務を果たし、社会に貢献できる職業人を育てる学校。
カリキュラム・ポリシー
<ul style="list-style-type: none">① 人権尊重と多文化共生を基盤とした教育活動を推進し、いじめや体罰の無い学校。② 高等教育機関との教育課程上の連携を構築し、希望する生徒が最先端情報科学分野を学べる学校。③ 各種仕様書をつくれる基礎技能と読み書き計算能力を着実に身につけさせる学校。④ 保護者・地域から信頼され、保護者・地域と一体となって教育が推進できる学校。⑤ 教育活動の円滑実施に向け、自律経営推進予算の適正な手続きによる計画的予算執行を行う学校。⑥ 学校の教育的責務を果たすため、法令遵守（コンプライアンス compliance）の徹底と説明責任（アカウントビリティ accountability）を果たす学校。
アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none">① 本校の教育目標を理解し、その実現に向け、自ら積極的に取り組む生徒② 学業と部活動等を両立させ、「知力・気力・体力づくり」にすすんで取り組む生徒③ 努力を惜しまず、資格取得にすすんで取り組む生徒④ 本校の規則を守り、奉仕活動にすすんで取り組む生徒

スクール・ポリシー（学校名：都立六郷工科高等学校（全日制課程）デュアルシステム科）

<p>グラデュエーション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none">① 18歳で選挙権を適正に行使できる能力と態度を身に付けさせる学校。② 法令を守り社是・社訓、就業規則の内容を理解し適正に職務を遂行できる態度を着実に身につけさせる学校。（特に改正道路交通法に規定されたヘルメット着用自転車乗車を徹底推進する。）③ 将来、就業先で上司から依頼、指導・助言された内容を素直に履行できる態度を育てる学校。④ 登校時校門を入り下校時校門を出るまでの間、「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」、「お願いします」、「ありがとうございました」等の挨拶が確実にできる生徒を育てる学校。⑤ 納税の義務を果たし、社会に貢献できる職業人を育てる学校。
<p>カリキュラム・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none">① 人権尊重と多文化共生を基盤とした教育活動を推進し、いじめや体罰の無い学校。② 高等教育機関との教育課程上の連携を構築し、希望する生徒が最先端情報科学分野を学べる学校。③ 各種仕様書をつくれる基礎技能と読み書き計算能力を着実に身につけさせる学校。④ 保護者・地域から信頼され、保護者・地域と一体となって教育が推進できる学校。⑤ 教育活動の円滑実施に向け、自律経営推進予算の適正な手続きによる計画的予算執行を行う学校。⑥ 学校の教育的責務を果たすため、法令遵守（コンプライアンス compliance）の徹底と説明責任（アカウントビリティ accountability）を果たす学校。
<p>アドミッション・ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none">① 本校の教育目標を理解し、その実現に向け、自ら積極的に取り組む生徒② ものづくりに興味があり、将来、日本のものづくりを支えていきたいと考えている生徒③ マナー、コミュニケーションなど、社会人に必要な基礎・基本の定着を目指す生徒④ 資格取得などに積極的に挑戦し、何事にも粘り強く取り組むことができる生徒

スクール・ポリシー（学校名：都立六郷工科高等学校（定時制課程））

グラデュエーション・ポリシー

- ①基礎・基本を学び，ものづくりを学び，多文化共生の考え方を身に付けているか。
- ②各教科および総合的な探究から，自ら考え行動する力が身に付いているか。

カリキュラム・ポリシー

- ①選択科目，学校設定科目を多く設置し，多様な生徒を受け入れる教育課程を編成する。
- ②基礎・基本を低学年に配置し，早くからしっかりとした学力を身に付けさせる。

アドミッション・ポリシー

- ①ものづくりの考え方を学びたい生徒を期待する。
- ②本校での学びと就業が両立できる生徒を期待する。